



4月も後半に入りました。特に、1年生のみなさんは、中学校生活にまだまだ慣れていない人が多いのではないのでしょうか。もちろん、上級生のみなさんも、まだまだ慣れていない人もいるでしょうね。

前号では、『今年度の一年間をどう過ごすのか』問いかけましたが、少しは考えてくれたでしょうか。しつこいかもしれませんが、毎日の1日1日はとても大切なのですよ。なぜなら、今日は二度と来ないし、1日を保管することができないからです。みなさんは若いので、いくらでも時間はあると思うかもしれませんが、1日は大切に過ごしてくださいね。

## 避難訓練を行いました

先日、避難訓練を行いました。地震が発生し、その後校舎内（湯沸かし室）で火災が起こったと想定したものでした。

みなさんの姿は、まじめに訓練をできたと感じました。ただ、想定なので、臨場感はありません。

では、本当の災害が起こったらどうなるのだろうと、訓練の中身を理解して、災害が起こった場合はどうしたらいいのかを自分の頭で考えることも大切です。

日本は、活火山（活発な火山）が集中している、世界有数の地震大国なのです。他の国では、中国、インドネシア、イラン、アフガニスタン、メキシコなどが地震国と言われています。

ちなみに、日本の3大地震は、関東大震災（1923年）、阪神淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）と言われていますが、訓練後の講和で、宇野先生から紹介していただいた熊本地震（2016年）も大きな地震災害の一つです。

少し話は変わりますが、球体である地球の、地面の下はどうなっているか知っていますか？何も知らなければ、硬い土の球と思うかもしれませんが。実は、地球を3000kmほど掘り下げていくと、鉄が溶けた液体があります。5000kmほど掘り下げると鉄の固体があります。地球の表面はたくさんのプレートと呼ばれる板状のかたまりが並んでいます。プールにビート板を敷きつめたようなつくりです。

そのせいで、プレートは移動したり、沈んだりするので、大きな地震が発生することもあります。

さて、地震は、どこで起きるか、いつ起こるのか、どれくらいの揺れるのか、予測不可能の災害です。だからこそ、避難訓練を通じて、自分の身を守るようにするために訓練を行っています。

余談ですが、昨日は、日本で複数の地震が起きました。中でも、三陸沖では、マグニチュード7.7で、最大震度5強の大きな地震がありました。改めて、災害について考えてみてください。

